



「八王子いちよう祭り」では、宿場町・八王子らしく、通行手形を持って関所を巡るオリエンテーリングも実施される

読む人の幸せを心に願って作る

# 喜びの 夕ネまき 新聞

No.576

## 八王子いちよう祭り〈東京都〉

東京都下有数のベッドタウン・八王子の秋の風物詩と言えば、「八王子いちよう祭り」。約770本のいちようが黄金色に染める甲州街道を舞台に、ふるさとバザールやクラシックカーのパレードなどで賑わいます。

〈強い志〉

時代の移り変わりと共に暮らしは変わり、それに合わせて役立つ商品やサービスを提供することが企業の役割です。生活者の求める商品を生み出すために様々な業界で日々改善が繰り返されており、時として常識に捉われない新しい新たな発想でチャレンジし、画期的な商品やサービスが生み出されることがあります。

過去からの延長線上では将来が見えない時に、大きな変革が生まれます。ただし、大きな変革には大きな波がつきもので、数々の壁が立ちはだかり、それでもお客様のご要望に応える「強い信念」によって、新たな道が開けるのだと思います。

人生においても平穩に毎日を通せばよいのですが、思うようにいかず、悩んだり悲しんだりすることがあります。そんな時は視野を広げ、視点を変えて、「周囲の人の役に立てることはないだろうか」と考えれば、前向きな気持ちに切り替わり、新たな道も開けてくるのだと思います。

人生では良いことも、そうでないことも起こります。今おかれている環境が思わしくなくても、全ては将来の成長に繋がると前向きに捉え続ければ、状況は好転します。また、良い状況時には浮き足立つことなく、多くの人の支えがあるからこそ今がある、と謙虚に受け止めることが大切です。良い時も、そうでない時も、現状と向き合い「強い志」を忘れず、人のお役に立てる人生を送れるよう心がけなければと思う日々です。

株式会社ダスキン社長

山村輝治



## 鹿児島市 「NPO法人桜島ミュージアム」

# まるごとミュージアムの島

桜島はここ約550年の間に4回の大噴火を起こしていると考えられています。その度に溶岩が大地を覆い、その後、ゆっくりと時間をかけて森を再生させます。そのため、大噴火で溶岩が流れ出たエリアごとに、段階の異なる再生の過程が見られるというわけです。例えば、江戸時代の大噴火でできた溶岩地帯は既に豊かな森となっていますが、昭和21年の大噴火で生じた溶岩地帯は、今もまだ岩がむき出しで乾燥に強いクロマツが点々と生えているだけ。



「桜島天然温泉掘りツアー」は、小さな子どものいるファミリーにも大人気



「桜島火山ガイドウォーク」は予約すれば、いつでも参加できる

てきたのだそう。

「元々、桜島の人はこの地に強い愛着を持たれている方が多いので、科学的な知識を共有することで将来的には島民全員が桜島ミュージアムの学芸員となるのが理想です。それに、活火山の特性を知ることが防災にもつながっているんですよ。」

何も知らない私たちは「噴火」と聞くと大騒ぎしがちですが、地元の人々にとつて噴火は日常。大規模な噴火もいずれば起こるものだと思えて、何か予兆があればすぐ分かるように日々の観察をしているそうです。

「正しい知識を持てば、火山は決して怖いものではありません。むしろ、大きな恵みを与えてくれるものであり、モクモクとあがる噴煙を見られるのはどこにもない魅力。これからは正確な情報を伝え、地元の人々と一緒に桜島の面白さを発信していきたいですね。」

地球の動きを体感できる桜



錦江湾越しに見る桜島は、勇壮でありながらもどこか穏やか。取材時の警戒レベルは3で、噴火口から2km内に入らなければ、安全な状態(2016年9月現在)

## 鹿児島市 幸せな食べ物×幸せな風景



「桜島ナイトツアー」では、夜空をバックに真っ赤に飛び散る噴石と轟音に地球の鼓動を感じることができる。噴火が見られるかどうかはその日の運次第

数多の活火山を有する火山大国・日本。その中でもひとときわ異彩を放っているのが、鹿児島県のシンボル・桜島です。現在も活発な噴火活動を行っており、昨年の噴火回数なんと1252回。単純計算すると、毎日3回以上の噴火が起こったこととなります。さらに驚かされるのは、これだけ活発な活火山のふもとに約4500名もの人々が、のどかに暮らしているということです。

この科学的にも文化的にも希有な火山島に魅了され、魅力を多くの人に伝えたいと声をあげたのが、火山地質学者の福島大輔さんでした。

「人間は、長くても100年分の歴史を目撃できるかどうか。でも、ここでは200年以上の地球の営みをリアルタイムで見ることができるといいます。」

桜島ミュージアムは、桜島の自然や文化をまるごと博物館に見立てて、地域づくりや観光を促進する取り組み。火山の特性を活かした体験プログラムの提供や修学旅行生の受け入れを行っており、ただ解説するだけではなく、触ったり体を動かしたりしながら理解を深められるようになっていくのが特徴です。中でも、「天然温泉掘り」は、砂浜を少し掘るだけで40℃以上の温泉が湧き出るので、楽しみながら火山の胎動を感じられると人気だとか。

一方で、地元の人々もこれまで当たり前だと思っていた景色に改めて関心を持つようになっ

## がねの作り方

鹿児島県の特産物・さつま芋(鹿児島弁で唐芋)を使ったかきあげ。形がカニ(鹿児島弁で“がね”)に似ていることからその名がつけました。一般的なかきあげとは違って、衣に砂糖が入っているため、ご飯のおかずとしてだけでなく、こじゅはん小昼食と呼ばれる食事の間の軽食としても食べられているそうです。



### 材料 (約20個分)

- さつま芋(唐芋) 中1個(250g)
- ごぼう ..... 2/3本(100g)
- にんじん ..... 中1/2本(100g)
- かぼちゃ ..... 100g
- ニラ ..... 7~8本(35g)
- 小麦粉 ..... 250g
- 砂糖 ..... 25g
- 米粉 ..... 60g
- 塩 ..... 小さじ2/3
- 酒 ..... 15cc
- 薄口醤油 ..... 35cc
- 卵 ..... 1個
- 水 ..... 150cc

1 さつま芋250g、ごぼう・にんじん・かぼちゃ各100gを細切りに、ニラ35gは適当な長さに切る。さつま芋とごぼうは水にさらしてアクを抜いておく。

3 ③を木べらなどですくって形を整え、180℃に熱したサラダ油で揚げる。この時、野菜の間にすき間ができるよう不揃いに形を整えると、均一に火が通りカラッと仕上がる。

2 ポウルに卵1個を割入れて溶き、酒15cc、薄口醤油35cc、水150ccを加えてよく混ぜ、調味液を作る。そこへ、しっかりと水を切った①の野菜を入れてよくからませる。

4 まんべんなくきつね色に揚がったらできあがり。下味がしっかりとついているので、そのまま食べられる。

3 ビニール袋に小麦粉250g、砂糖25g、米粉60g、塩小さじ2/3を入れてよく振る。混ぜた粉を②のポウルに入れ、野菜つひとつに衣がからまるよう手でまぜる。

### 「幸せな食べ物」の作り方を教えてくれた人



蒲生農産加工センターのみなさん  
鹿児島市の隣、始良市蒲生町で地元の食材を使った30種以上の郷土菓子を製造しているみなさん。がねは家庭によって使う食材が異なるそうですが、さつま芋とごぼうは必須とのこと

# えがおで暮らせば

## 第四話

# 人生のステージ

四季に例えられるように人生は移りゆくもの。新たなステージを迎えるたびに期待と不安が交差します。いつも前向きな坂井より子さんに人生の変化をどう受け止めてきたのかについて伺いました。



普段のおでかけはご自身の運転で。葉山の曲がりくねった細い道もスイスイ走り抜ける

### 知らず知らずに過ぎていく時間

クリスマスのディスプレイが街を彩りはじめました。月日の流れは本当に早いもので、気が付けば年末へのカウントダウンです。

人生も同じで、知らず知らずのうちに時が過ぎていたと感じることはありませんか？でも、その過ぎた時間の中で積み重ねたものが、今の自分を作りあげているのだと思います。

最近、いろいろな方とお話をする中で自分の人生を振り返る機会をいただき、気付いたことがあります。それは、平凡だと思っていた私の人生にも、様々なステージがあったのだということ。もちろん、その渦中にいた時は客観的に自分を省みる余裕がありませんでしたが、自分なりに乗り越えて今に至っているのだと感じます。

### 葉山で始まった子育て

手前味噌ですが、私の特技は多少の不安や不満があっても、すぐに気持ちを切り替え、逆にその環境を楽しめることです。

夫とは職場で出会い、私はほとんどなく退職。娘を授かったのを機に、葉山で暮らすようになりました。当時の葉山にはスーパーひとつなく、乳母車を押して出かけられるところと言えば、海と公園とママ

### すべてよし

「すべてよし」。私が大切にしている言葉で、「今の自分があるのは人生で起きたことすべてのおかげ。だから、嬉しかったことも辛かったこともすべて感謝すべき大切な経験なんだ」という教訓です。

人生には、様々なステージがあつて、その都度、戸惑ったり不安に呑み込まれそうになったり。けれども、前向きになれば、そこには必ず新たな発見があります。だから「すべてよし」なのです。そして今、私はまた新たなステージを迎えています。このようにみなさまにお話しする場をいただくとともに、つくづく、人生は驚きの連続だと実感しています。次はどんな出来事が起こるのかしら、と今から楽しみです。



上:少しずつ多くの種類が栽培されているご主人の畑は、新鮮な食材の宝庫。坂井さんの腕が鳴る  
左:ご主人の釣り道具。野菜だけでなく、魚介を獲るのもお手の物



友のお宅ぐらいい。でも、行く所がなかった分、たづねり子ども達と向き合つて過ごせましたし、便利なものもない時代でしたが、工夫したり、手間をかけたりのこと

で家族に愛情を伝えることができたと思います。

### 子ども達の旅立ち

ある程度、子どもに手がかからなくなつてきたと思つたら、すぐに巣立ちのステージがやつてきました。娘は高校へあがると同時に念願だったアメリカ留学を果たし、その影響を受けた息子も同じくアメリカへ。当時私は47歳で、二人の子どもが巣立つてしまったことが少々寂しくもあり、夫と二人きりで何を話せばよいのかと戸惑つたりもしましたね。しかし、「早々といっていた自分たちの時間を謳歌しよう」と思うようになり、夫が休みの日にはお友達夫婦と一緒に旅行をしたり、平日には同年代の仲間と遊んだり、これまでとはまた違った生活を楽しむようになりました。

そんな時、「夕飯、何にしようかしら」と困っているお友達にアドバイスしたことがきっかけで、「お



お気に入りのお花屋さんがあり、部屋に花を欠かすことはないのだそう

料理を教えてください？」と頼まれるようになったのです。

最初は私なんかには教えられることなどあるかしら、と迷いました。でも、私が当たり前だと思つて続けてきたことが誰かにとつては学ばず価値のあるもので、それを喜んでくださるのなら、こちらも嬉しいと思つたんです。そうしてお料理が私を新たなステージへと導いてくれました。

### それぞれが自分らしく

お料理教室を開く生活に慣れてきたと思つたら、今度は定年を迎えた夫が「一人暮らしをしてみたい」と言いだし、また次のステージがやつてきました。夫が新天地の新潟へ行った後、私もマイペースに自分の時間を楽しみましたが、仕事以外でお料理することが減つてしまつて…。改めて、私にとつてお料理とは、家族のためにするものだと思ふく良いきっかけになりましたね。

夫は新潟で近所の農家さんに教わりながら畑の手入れをするようになり、葉山へ戻った今でも畑を借りて、自分なりに試行錯誤しながら農業を楽しんでいます。でも私が夫に同調し、農業に付き合うことはありません。その代わり、穫れた野菜を私らしくお料理させてもらっています。

それぞれが自分のペースでやりたいようにやる。お互いが自分らしく居られるように思っているのが私たち夫婦のスタイルなのです。

### 坂井より子さん

1946年生まれ。料理研究家。神奈川県葉山町在住。自宅で料理教室を主宰する傍ら、子育てママとのお話し会や親子教室を開催。著書「受け継ぐ暮らしより子式・四季を愉しむ暮らしごと」(技術評論社)が人気書に。やさしい家庭料理と温かな人柄で幅広い年代から支持を集めている。



### 冬生まれの孫

宮崎県高鍋町 川田 愛子さん

私の子どもは、3人とも夏に生まれました。上の2人の孫も夏生まれで、末っ子の孫だけが冬(12月)生まれです。

ですから、私は夏に生まれた赤ちゃんしか育てた経験がなく、娘が退院し末の孫を連れて実家に帰ってきた時は、「室温は?」「ふとんは?」「肌着は?」「お風呂の温度は?」と、風邪をひかせてはいけないという思いで、まるで私が初産みたいにあたふたしました。

それに、冬の水で布おむつを洗濯していたために手も荒れてしまい、娘が見かねてゴム手袋を買ってきてくれました。

今、その孫はよちよち歩きの可愛い盛りです。次の孫は、春か夏にお願いしたいものです。

★冬生まれのお孫さんでも、もう心配いりませんね!



### 一人と一匹の暮らし

宮城県気仙沼市 梶原 たつ子さん

私は一匹の猫と暮らしています。去年の初夏、ブロック塀の上から降りられず、一日中ピーピーと鳴いていたのを連れてきて飼うことにし、「ピー」と名付けました。

片手に乗るほど小さかったピーも今は大きくなり、夜は私のベッドの上や枕の近くで眠ります。

ある日、ベッドに寝ていた私の鼻をピーが引つかいたりかじったりするので、何かあるなと思っで起きてみると、玄関にギャングのボスのような怖い顔をした野良猫がいたので、

その猫を追い出して再びベッドに戻ると、ピーも安心したように眠りました。もしかして私を守ってくれたんでしょうか?ピー、ありがとうね。

★侵入者を知らせてくれるなんて、偉いですね!



### 柱時計

北海道帯広市 伊藤 昭子さん

私が小学1年生になるまで、我が家には父の懐中時計しかなかった。友だちの家には立派な柱時計があり羨ましかった。だから算数で時計のテストがあった時、間違えた私の言い訳は「だって、家には時計がないんだもん」だった。

すると翌日、父は片道20キロもある街まで自転車で出かけ、風呂敷を背負って帰ってきた。中から現れたのは、大きな柱時計。大黒柱にかけるとカッ、カッと大きな音が居間に響いた。兄や姉は何回も時間を尋ねてくれて、私は得意になって答えたものだ。

父が逝った後、一度だけ修理に出したことがあるが、とうとう動かなくなった。60余年も時を刻んでくれたのだからゆつくり休ませてあげたい。

★ずっと時を刻み続けてくれた柱時計に、お疲れさま。

### 燈々無尽

#### 人につかえる

なんだ、かんだ、と

うまいことを言っても

自分がかわいいために

自分の好きなことをしたために

他の人をせめているのではないか

という反省。

それよりもぎゅっほらんに

どうぞ、許して下さい

どうぞ、やらせて下さい

私でお役に立つならば

鈴木清一



### ゴーグル

埼玉県富士見市 高野 キヨイさん

私には5人の孫がいます。先日、2歳6カ月の一番小さな孫娘と自転車で買い物に行きました。孫はいつもどこかへ行く時に、お気に入りのお小物なカバンを持ちます。私は、孫娘を自転車の後ろに乗せて出発しました。

少し行くと、通り過ぎる人が私達を見てみんな笑います。「私の顔に何か付いている?」「孫が可愛いから?」。赤信号で自転車を降りた時、その理由がわかりました。

なんと孫娘は、スイミング用のゴーグルを着けていたのです。ゴーグルの中は曇っていました。目をパチパチさせて、まるでみんなからの「ステキ!」という言葉を待っているような、凛とした態度で自転車に乗っていました。

★可愛くも凛々しい、お孫さんの姿が目につかびます。



### サプライズプレゼント

愛知県蒲郡市 藤田 英子さん

今年は運悪く、なんと自分の誕生日にインフルエンザにかかってしまいました。「息子たちが可愛い孫を連れて遊びに来てくれるかな」と楽しみにしていただけに、今年は寝込んだまま、寂しい58歳の誕生日を迎えるんだと落ち込んでいました。すると当日、携帯電話に息子のお嫁さんからステキな写真が送られてきたのです。とてもきれいな色で彩られた、お嫁さん手作りのメッセージカードを抱きかかえた、可愛い可愛い笑顔の孫の写真でした。

一人で落ち込んでいた分、心のこもったプレゼントは本当に涙が出るほど嬉しく、心温まる一日を過ごすことができました。

★家族の優しさに包まれた、素敵な誕生日でしたね。



### ある日の新幹線

広島県福山市 古屋 陽子さん

最近は何配の方でも若い方でも、列車の座席で隣同士に座ったときに言葉を交わすことがなくなっと思えます。そんな中、新幹線の車内でのこと。

前後2列の通路側の方が、それぞれ席を離れている間に次の駅に着きました。新たに乗車してきた客が空いた席を探し始める中、前の窓際に座っていた方が自分のマフラーを隣の席に置き、後ろの方は週刊誌を隣の席に置いて、それぞれお隣さんが戻ってこられるようにしてあげていたので、

他の乗客が通り過ぎた後、通路側の方が1人ずつ戻りました。2人とも隣人の心配りに笑みがこぼれ、和やかな雰囲気になりました。4人とも面識のない方々のようでしたが、一部始終を見ていた私もほっこりした気持ちになりました。

★まさに「袖振り合うも多生の縁」とはこのことですね。

愛の輪からのレター  
みんなと一緒に、  
私たちができること。

11



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

### 愛の輪タイム

ダスキン愛の輪基金では、毎年、全国各地で開催している「ダスキン感謝のつどい」や、ミスタードーナツで働く人たちが日頃の技術やサービスを競う「ミスタードーナツ・フレンドシップフェスティバル」の中に「愛の輪タイム」を設定。一人でも多くの方に活動内容を知ってもらおうと、ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業の研修派遣生が講演を行い、現地で研修内容や帰国後の活動報告などを行っています。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。  
☎ 06-6821-5270 <http://www.ainowa.jp/>

あなたのお便りや写真を  
お寄せください。

みなさまからお寄せいただいた  
お話をもとに新聞をつくってまいります。  
どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いて  
もらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

#### 送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33  
株式会社ダスキン広報部  
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室  
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、  
現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。  
紙面やホームページでご紹介させていただいた  
原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

No.419からのバックナンバーが  
下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



僕もスマイル  
できるよ

新潟県三条市  
桐生恵里加さん



得意技は  
カソ寝です

兵庫県西宮市  
山岡久美子さん

# みてもらお!

見てうれし、見せてうれし。  
あなたのお気に入りの1枚を送ってください。

お兄ちゃんの  
七五三  
かっこいい!!



福岡県久米市  
小柳千恵子さん



着物大好き  
姉妹

岡山県玉野市  
岩本佳久さん



早前  
三兄弟!

大分市  
原田佳寿美さん

おてかけ大好きよ  
いつも一緒の  
二匹です!



神奈川県海老名市  
二見順子さん



お得な情報満載!  
**LINE@**は  
もう登録しましたか?!

毎日をちょっと楽しくする  
情報をお届けします!  
ぜひ友だち追加  
してみてください!

LINE紹介  
ページへ  
アクセス!!



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報の取り扱いについて】  
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター  
**0120-100100** [www.duskin.co.jp](http://www.duskin.co.jp)